



早春の穏やかな青空を写し取ったような、美しい色の花オオイヌフグリは、もともとは日本にはなかった草でした。明治の初め頃その故郷ヨーロッパから日本に渡ってきたようです。繁殖力がとても強く、たちまちあたりに広がって、道端に春を告げる野草のひとつとして、今日ではどこでも見つけることができ親しまれています。小さな花がボツンと咲いているところも美しいのですが、群生しているところもまた見事な美しさです。花は昼間は日光を浴びて開き、夜は閉じてしまします。ふたつの雄しべとひとつの雌しべがあり、花の中央はやや緑色をしています。この奥に蜜があるという目印で昆虫を誘う役目を果たしています。小さな花の中にさまざまな生きる知恵がかくされているのですね。



今、ふれあいの村では・・・


オオイヌフグリが咲きはじまりました。上の絵のように群生するのは、もう少し先になりそうです◆花の中央の緑色の部分も確認できます。これはイヌというよりも、ネコの顔に見えました。◆たくさんの方のナナホシテントウが走り回っています。花びらによじ登ろうとしたり、あきらめてか、別のところへ飛んでいくのを見えます。撮影中の私の指に止まったり、さまざまな動きをしています。



☆来月のファミリーコミュニケーションデー：4月1日（日）
 10:00～12:00《自然観察会》「春らんらん♪春の花や虫をさがそう！」
 （参加費無料）
 13:00～15:00《フォーク講座》春の季節を描く（材料費等：250円）
 ※ファミリーコミュニケーション運動の一環として、毎月、第一日曜日に開催中です。
 ※申込み・問合せは電話などで、お気軽にどうぞ。

神奈川県立足柄ふれあいの村（南足柄市広町1507）
 指定管理者：足柄グリーンサービス・関東学院グループ
 所管課：神奈川県教育委員会教育局支援部
 子ども教育支援課
 電話：0465-72-2010 FAX:0465-72-2013
 URL: <http://www.ashigara-fureai.com/>



ふれあい広場でく
らしている金太郎と
仲間たち。きょう
は、くますけが、
「ひろばの おかいの
きに あおい ものが
とまっている のでみに
いこう」というので、
みなでいきました。
あおいものはちいさな
ボールでした。
だれかが あそんでい
るうちにきの たかい
ところに とんでいって
しまった ようです。
みんなで ジャンプしま
したが とれません。
「ざんねんだなあ。あ、
ぼくたちにも とれる
はずむたまがあった」
ときんたろうが いいま
した。それは、ジャ
ノヒゲという くさで
あおいかわを おくと
はずむのです。ひと
つずつもって あそびま
した。ボールは しぼ
んでどこかへ 行ってし
まいました。おしまい。

★フィールドワーク★

自然の生活とは？

野外を探検・調査・観察することをフィールドワークといいます。

3月になり、陽ざしも少しずつ暖かくなってきました。ふれあいの村の村内で冬の寒さに耐えていた植物たちも、芽吹きを季節を迎えました。色々な場所で、固い殻を脱ぎ捨てようとしている姿を見る事が出来ます。花びらの色はまだ薄く、これから濃い色に変わっていくのでしょうか。その花を目あてのチョウの姿も見られるようになりました。



アジサイ



イロハモミジ



クロモジ



ヒメジャラ



アカタテハ



シダレウメ



ハコベ



ヒメオドリコソウ



タネツケバナ